

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	東京都立産業技術高等専門学校
設置者名	東京都公立大学法人

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
	本科 ものづくり工学科	夜・通信			90	90	7	
	専攻科 創造工学専攻	夜・通信			41	41	7	
		夜・通信						
		夜・通信						
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://www.metro-cit.ac.jp/education/studysupport.html>

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名 なし

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京都立産業技術高等専門学校
設置者名	東京都公立大学法人

1. 理事（役員）名簿の公表方法

次の東京都公立大学法人ホームページで一般に公開している。  
<https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/about10530/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	東京大学名誉教授	2021年4月 1日から 2025年3月 31日まで	業務総理
常勤	東京都総務局長	2024年4月 1日から 2025年3月 31日まで	財務・総務・総合調 整担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京都立産業技術高等専門学校
設置者名	東京都公立大学法人

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
1. 概要、到達目標 2. 授業の内容、進行予定 3. 実務経験と授業内容との関連 4. 教科書、副読本	
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.metro-cit.ac.jp/major/syllabus.html">https://www.metro-cit.ac.jp/major/syllabus.html</a> <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/major/senkocurriculum.html">https://www.metro-cit.ac.jp/major/senkocurriculum.html</a>

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

本科 ものづくり工学科

- ①「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、各教育課程でどのように養成されるかを学生が把握できるように、シラバスに修得できる能力を示している。
- ②成績評価の公正性と透明性を確保するために、各科目の到達目標に対する達成度を目安として採点し、客観的な評価を行う。

・成績は100点法により採点し、学修評価は以下区分による表記で実施

評価	100～90	89～80	79～70	69～60	59～40	39～0	未履修
評語	S	A	B	C	D		E
5段階表記	5		4	3	2	1	未履修
可否	合格 (またはG)				不合格		未履修

専攻科 創造工学専攻科

- ①「ディプロマ・ポリシー」に定めた能力が、各教育課程でどのように養成されるかを学生が把握できるように、シラバスに修得できる能力を示している。
- ②成績評価の公正性と透明性を確保するために、各科目の到達目標に対する達成度を目安として採点し、客観的な評価を行う。

・成績は100点法により採点し、学修評価は以下区分による表記で実施

評点	100～80	79～70	69～60	59～0
評語	A	B	C	D
可否	合格			不合格

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

CSA 制度を導入し、定期試験ごとに学生に CSA によるクラス(コース)内順位を成績表と校務支援システムにて公表している。CSA の算出方法は、学生の成績評価を 100 点満点で評価し、以下の計算式により算出している。

$$CSA = \frac{[(\text{科目の単位数}) \times (\text{その科目で得た評価})] \text{の総和}}{(\text{履修申請単位数}) \text{の総和}}$$

(小数点第 3 位を四捨五入)

4 月の新入生ガイダンスで学生に説明し、6 月の前期中間試験後の保護者会において「成績表の見方について」の文書を配布し、クラス担任より詳細な説明を行っている。また、上記方法により算出した CSA について、コースごとに成績分布表を作成し、確認を行う体制としている。

客観的な指標の  
算出方法の公表方法

<https://www.metro-cit.ac.jp/education/index.html>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)  本校の使命である「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」を実現するために、準学士課程（本科の教育課程）において、厳正な成績評価のもと、所定の単位を修得し、次の能力を身に付けた学生に対して卒業を認めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自主的・計画的・継続的に学習する能力</li> <li>(2) 協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に思考し、表現する能力</li> <li>(3) 産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かで幅広い教養をもち、技術者として責任ある思考と行動ができる能力</li> <li>(4) 数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力</li> <li>(5) 専門知識を応用して問題を解決する能力</li> <li>(6) 工学的な立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力</li> </ol>	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	<a href="https://www.metro-cit.ac.jp/information/philosophy.html">https://www.metro-cit.ac.jp/information/philosophy.html</a>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	東京都立産業技術高等専門学校
設置者名	東京都公立大学法人

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/">https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/">https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/</a>
財産目録	—
事業報告書	<a href="https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/">https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/</a>
監事による監査報告(書)	<a href="https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/">https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/finance/</a>

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称: )	対象年度: )
公表方法:	
中長期計画(名称: 東京都公立大学法人 第四期中期計画 対象年度: 令和5(2023)年4月1日から令和11(2029)年3月31日)	
公表方法: <a href="https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/middle-plan/">https://www.houjin-tmu.ac.jp/about/guideline/middle-plan/</a>	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/information/selfinspection.html">https://www.metro-cit.ac.jp/information/selfinspection.html</a>
---

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法: <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/information/accreditation.html">https://www.metro-cit.ac.jp/information/accreditation.html</a>
---

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 ものづくり工学科
教育研究上の目的 (公表方法： <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/information/philosophy.html">https://www.metro-cit.ac.jp/information/philosophy.html</a> ) (概要) 首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストを育成するために、科学技術の高度化、複合化、グローバル化に迅速に対応できる応用力、創造力を有した実践的技術者を育成します。
卒業又は修了の認定に関する方針 (公表方法： (概要) 卒業の認定方針については以下のとおり定めている。 (1) 自主的・計画的・継続的に学習する能力 (2) 協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に思考し、表現する能力 (3) 産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かで幅広い教養をもち、技術者として責任ある思考と行動ができる能力 (4) 数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力 (5) 専門知識を応用して問題を解決する能力 (6) 工学的な立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法： (概要) ものづくり工学科では、ディプロマ・ポリシーに掲げる能力を修得させるために、専門科目と一般科目をくさび形に編成した 5 年間の一貫した教育課程を編成します。2 年次より 8 つの各コースに分かれ、ものづくり技術の修得を図るため、コース必修科目と選択科目を配置しています。
入学者の受入れに関する方針 (公表方法： <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/contents/000005984.pdf">https://www.metro-cit.ac.jp/contents/000005984.pdf</a> ) (概要) 本校の教育理念に基づいた人材を育成するために、以下の能力と意欲を有する生徒を求めています。 (1) 向上心を持ち、自分の決めた目標に向けて粘り強く努力できる人 (2) 高専での教育を受けるのにふさわしい基礎知識・能力を有している人 (3) コミュニケーション能力を身に付け、世界を舞台に活躍したい人 (4) ものづくりが好きで、実践的技術者になりたいと考えている人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：<https://www.metro-cit.ac.jp/information/organization.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
—	—	53人	53人	人	13人	人	119人
—	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長				学長・副学長以外の教員			計
0人				166人			166人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/education/teacher02.html">https://www.metro-cit.ac.jp/education/teacher02.html</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
ものづくり工 学科	320人	321人	100%	1,600人	1,573人	98.3%	—人	2人
創造工学専攻 科	32人	36人	112.5%	64人	72人	112.5%	—人	—人
合計	352人	357人	101.4%	1,664人	1,645人	98.9%	—人	2人
(備考)								

b. 卒業生数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
ものづくり工 学科	307人 (100%)	122人 (39.7%)	173人 (56.4%)	12人 (3.9%)
創造工学専攻 科	42人 (100%)	15人 (35.7%)	26人 (61.9%)	1人 (2.4%)
合計	349人 (100%)	137人 (39.3%)	199人 (57.0%)	13人 (3.7%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
合計	人 (100%)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)	人 ( %)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p>(様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の該当部分を再掲)</p> <p>本校では、翌年度に行われる授業について、以下の内容を記載した授業計画書(シラバス)を例年3月頃に作成し、本校HPにて公表している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概要、到達目標</li> <li>2. 授業の内容、進行予定</li> <li>3. 評価方法、評価基準(ルーブリック)</li> <li>4. 実務経験と授業内容との関連</li> <li>5. 教科書、副読本</li> </ol>
---

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p>(様式第2号の3【(3) 厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の該当部分を再掲)</p> <p>卒業の認定方針については以下のとおり定めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 自主的・計画的・継続的に学習する能力</li> <li>(2) 協働してものづくりに取り組んだり国際社会で活躍したりするために、論理的に思考し表現する能力</li> <li>(3) 産業界や地域社会、国際社会に貢献するために、豊かで幅広い教養をもち、技術者として責任ある思考と行動ができる能力</li> <li>(4) 数学・自然科学・自らの専門とする分野の基本的な技術と基礎的な理論に関する知識をもち、工学的諸問題にそれらを応用する能力</li> <li>(5) 専門知識を応用して問題を解決する能力</li> <li>(6) 工学的な立場から地球的視点で社会に存在する問題を発見し、発見した問題を解決する能力</li> </ol>				
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	ものづくり工学科	167 単位	有・無	単位
	創造工学専攻	62 単位	有・無	単位
GPAの活用状況(任意記載事項)		公表方法:		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法:		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法: 学校要覧に記載し公表している。

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考 (任意記載事項)
	ものづくり工学科	234,600 円	42,300 円	円	都外受験生の入学金は 84,600 円
	創造工学 専攻	234,600 円	42,300 円	円	都外受験生の入学金は 84,600 円

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) 経済的負担を軽減する制度として、入学料・授業料減免、奨学金制度を設けている。 また、ピアサポートの一環として、SA (Student Assistant) 制度を設け、本科上級生や専攻科生が下級生への相談や助言等のサポートを行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) キャリア支援センターを設置し、低学年からキャリアデザインを通して学生1人ひとりが希望の進路選択が実現できるよう、就職・進学・インターンシップをサポートしている。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 学生の健康診断や健康相談、応急処置、健康管理の支援や指導等のため、保健室を設置し、看護師が常駐して対応を行っている。 また、悩み事や困りごとについては、相談を受け且つ適切な助言と支援を行うことを目的とした学生相談室を設置し、教員、カウンセラーが対応を行っている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法： <a href="https://www.metro-cit.ac.jp/education/index.html">https://www.metro-cit.ac.jp/education/index.html</a>
---

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。